

---

# 人間科学研究

第31巻, 第1号, 補遺号, 2018

---

## 目 次

### 1. 退職教員プロフィール

永岡 慶三 教授 .....	1
----------------	---

### 2. 原著論文

Schönの省察概念による教師の省察研究の再検討 ..... 中村 駿、浅田 匡.....	3
行く末をめぐる葛藤と逡巡 ーハンセン病療養所退所者の語りからー .....	横瀬利枝子..... 13

### 3. 研究室だより

人間環境科学科 .....	原 知章..... 31
健康福祉科学科 .....	植村 尚史..... 33
人間情報科学科 .....	宮崎 正己..... 35

### 4. 修士論文要旨

#### A. 地域・地球環境科学研究領域

饗場 木香	歯のマイクロウェアによるニホンカモシカとニホンジカの食性分析, その手法の確立と評価 .....	37
洪 征翌	所沢における大気中PANsと有機硝酸類の連続観測 .....	38
朱 鈺	多国間協力による効果的な地域環境ガバナンスの構築方策についての研究 .....	39
服部 玲子	再野生馬における群れの役割と群れの維持 .....	40

#### B. 人間行動・環境科学研究領域

末森 雅大	入居後の経過年数に着目した新築注文住宅の顧客満足度調査の分析 .....	41
森下 正道	避難時間推定モデルを用いた腕時計型端末による避難誘導手法の評価 .....	42
谷貝 祐介	ドラム演奏における姿勢制御 ー床反力中心データを用いた熟練者と初心者の比較ー .....	43

#### C. 文化・社会環境科学研究領域

中村 優介	江戸の飲酒文化の復元ー爛徳利を中心にして .....	44
大坂 怜子	地方出身者のUターン移動の実態とその要因 ー青森県出身者の事例研究よりー .....	45
顧 竹筠	伝統芸能を生かした観光まちづくり ー沖縄県那覇市における「一万人のエイサー踊り隊」の事例よりー .....	46

#### D. 健康・生命医科学研究領域

田端 伸梧	「原発（避難）いじめ」の構造を探る	47
小幡 千紗	Relationship between Thermal Preference and Thermosensitive TRPs in Ovariectomized Mice	48
赤野 大和	福島原発事故後のリスクコミュニケーション	49
小松沢早桐	乳がんサバイバーにおける心的外傷後成長を促す要因	50
坂本奈津季	神経幹細胞における中心体タンパク質の機能	51

#### E. 健康福祉科学研究領域

岡部みゆき	メノポーズ世代を対象にしたマインドフルネスプログラムの有用性の検討	52
内田 和宏	介護保険施設における介護職員の離職防止に関する質的調査	53
易 肖和	A Research of Coping Strategies among Cancer Survivors: Focusing on Spiritual Coping	54
上田 菜央	地域住民の口腔内状態とソーシャル・キャピタルとの関連	55
王 辰晨	日本の在職老齢年金の効果について— 日本の年金制度中国へ適用可能性の視点から	56
河嶋 和子	車いす利用者の国際線航空機搭乗に関する諸問題と解決策検討 —セキュリティ対策を中心として—	57
重松 清美	キネクトを利用した主に運動機能評価における評価の客観性向上	58
下川 千草	自死遺族という生き方 —行動と関係性の視点からの検証—	59
照屋 真紀	沖縄県幼児の生活リズムの問題とその対策	60
中村 果鈴	大学におけるLGBT学生への支援に関する研究	61
福原 奈見	非正規労働者への厚生年金適用拡大の在り方について	62
楊 東霖	医療・介護連携のためのネットワークのあり方について —日本のモデルの中国への適用性の視点から—	63

#### F. 臨床心理学研究領域

加藤あい子	価値の明確化を取り入れたストレスマネジメント教育が勤労者の メンタルヘルスに及ぼす影響	64
浅見 祐香	窃盗症に対する認知行動論的理解とその介入効果の検討	65
飯島 有哉	教師の賞賛行動が児童生徒および教師自身のストレスに与える影響の検討	66
池田 寛人	ワーキングメモリと心配・反すうおよびメタ認知的信念が抑うつに 及ぼす影響	67
石川 美希	食行動異常における怒り反すうと食行動に対する認知の機能の検討	68
梅田亜友美	マインドフルネスおよび注意制御機能とマインドワンダリング および感情の関連	69
荻島 大凱	身体感覚の知覚が抑うつ的情報処理過程に及ぼす影響	70
鴨田 卓巳	価値の明確化とコミットメントの視点から探る諦めと精神的健康の関連	71
木村 香苗	労働者のパフォーマンスに対するインターネットを利用した価値の明確化 およびコミットメントの効果の検討	72
熊谷 真人	メタ認知理論における状況への再注意法の機序検討	73
小柴 薫	大学生のキャリア選択を困難にする認知的要因	74
齋藤 彩乃	青年期における情動調整方略を加えた問題解決訓練の効果検討	75



清水 彩乃	食行動異常と自己像不満の関連性にACTのコアプロセスが及ぼす 影響の検討	76
鈴木 佑梨	所沢市通級指導教室での実施支援の解明	77
高松 里奈	がん医療者が抱えるがん患者の家族に対する困難感に関する質的研究	78
玉瀬 恵	月経前症状に対する注意訓練法による介入効果の検討	79
中齋 美咲	行動変動性の向上がスケジュール感受性および精神健康に与える 影響の検討	80
仁田 雄介	Influence of avoidance behavior on modification of memory using reconsolidation	81
祢津 晶子	認知的フュージョンと体験の回避が緊張型頭痛の生活支障度に与える 影響と介入効果	82
前田わかな	マインドフルネスのルールの獲得がマインドフルネスの促進に及ぼす 影響の検討	83
松葉百合香	語りの共有を意図するセラピストの発話についての記述的検討	84
山岡 恒佑	努力-報酬不均衡モデルに基づくストレスマネジメント介入が心理・ 生理的ストレス反応に及ぼす効果	85

#### G. 感性認知情報システム研究領域

茨城 和花	笑顔の魅力性と顔の特徴量の関係性の検討	86
猪飼まりえ	表情の動的変化が顔認知関連電位に与える影響	87
大島 康暉	タッチパネル携帯端末におけるスライダの操作性向上	88
神谷 宏	自然に対する畏敬の念の伝承に関するモデル構築と今日的伝承手法の検討	89
坂口 歳斗	触診技術の定量化に向けたヒトの硬さ弁別特性の評価	90
松本 佳奈	MODAPTS法の適用範囲拡張による全身動作を対象とした作業評価尺度の 構築	91
宮原佐智子	校歌に対するなつかしさの認知構造と曲想イメージ形成のモデル化 —「校歌らしさ」のプロトタイプが存在性に関する実験的検証—	92
山田 浩貴	ディスプレイ上の日本文の難易度が眼球運動と可読性に与える影響	93
Justin Andrew Liao	Interactive Virtual Reality Speech Simulation System using Autonomous Audience with Natural Non-verbal Behavior	94

#### H. 教育コミュニケーション情報科学研究領域

楠 泰美	中高年を対象とするSNS利用の意義と効果検討	95
高木 博貴	ブレンド型授業を用いた授業実践における受講者の学びに関する分析	96
武田 起実	モーションキャプチャシステムを用いたロボットの自然な動作の 生成に関する研究	97
武田 奈々	Comparative Analysis of WTC (Willingness To Communicate) for Social Networking Sites between Japan and the U.S.A.	98
藤城 晴佳	ティーチングアシスタントの視点から捉えるリフレクションに関する エスノグラフィー	99
森山 翔太	メディアプロダクションスタディーズを通しての実践的英語教育の可能性	100
柳澤 美和	大学教員と学生を結ぶコミュニケーションツールの有用性の検討	101
多胡 輝一	Twitter 上の感情表現がユーザー関係に及ぼす影響の分析	102

## 課題研究論文

### I. 教育臨床コース

杉本 拓哉	発達障害児の視点取得を促すプログラムの検討	103
前田 俊一	発達障害を有し漢字習得に困難さがある児童への効果的な書字指導の検討	104

## 5. 博士論文要旨

### A. 人間行動・環境科学研究領域

佐藤 泰	人間的・時間的視点を考慮したオフィスワーカーの選好・行動モデル	105
------	---------------------------------	-----

### B. 文化・社会環境科学研究領域

瀧音 大	原始・古代日本における勾玉の研究	107
------	------------------	-----

### C. 健康・生命医科学研究領域

丸井 朱里	体温、心拍リズムの時間的差異におけるエストラジオールの役割	109
-------	-------------------------------	-----

### D. 健康福祉科学研究領域

大浦 絢子	高齢者介護施設における感染症発生と予防・対応策との関連	111
-------	-----------------------------	-----

### E. 臨床心理科学研究領域

嶋 大樹	体験の回避に関わる行動的プロセスの新たな測定法の開発	113
富田 望	社交不安における自己注目と注意バイアスの統一的理解	115
野中 俊介	ひきこもり状態にある人の家族を対象とした認知行動療法的 アプローチにおけるアセスメント方略の確立	117
前田 駿太	社交不安におけるコルチゾール反応の回復に認知的情報処理過程が 及ぼす影響	119

### F. 感性認知情報システム研究領域

高松美也子	音訳の読語過程における間（ま）を考慮した読語リズムの形成過程の検討	121
茂木 正晴	探索棒を用いた人の触知覚 一異なる素材の弁別における探索行為の運動的特徴一	123

### G. 教育コミュニケーション情報科学研究領域

長濱 澄	二重チャンネルモデルに基づく教育映像コンテンツの 高速提示効果に関する実験的検討	125
------	---	-----

### H. 課程外

松田 俊介	儀礼をめぐる情報の表象と編集 一強飯式の人類学的研究一	127
-------	-----------------------------	-----

## 6. 「人間科学研究交流会」報告

第29回	軽部 雄輝	129
第30回	大畑 佳久	133
第31回	佐野 雅規	135